

# 連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.181 (2009年2月17日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL [info@tokushima.jtuc-rengo.jp](mailto:info@tokushima.jtuc-rengo.jp)

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

当面の  
日程

2月19日(木)第3回五役・第3回執行委員会 13時30分

20日(金)2009春闘共闘会議第2回総会 13時30分  
徳島地協第8回委員会 18時

23日(月)部落解放地方共闘会議幹事会 18時

25日(水)第29回部落解放・人権地方研究集会  
13時~(徳島市文化センター)~26日

## 「危機こそチャンス!・・・雇用も賃上げも!」 —中小対策本部第18回総会・一泊学習会—



2月7・8日の両日、徳島県中小労働対策本部第18回総会・一泊研修会を鳴門市「エクシブ鳴門」で開催し約60名が参加した。総会は宮本副議長の開会で始まり、総会議長に中小では初めて女性議長として清田副議長を選出、平井中小労働対策本部議長の主催者挨拶の後、2009県共闘会議川越議長から激励連帯の挨拶を受け、続いて徳島労働局から中西労働基準部長、県商工労働部からは掛尾主幹より来賓挨拶を受けた。その後、執行部より2008活動報告、2009活動方針・役員体制が提案され全体の拍手で承認され、平井議長の団結ガンバローで総会は終了した。

研修会では座長に小原副議長を選出し、最初に県共闘会議の春闘取り組みについて小松事務局長から連合が賃上げ闘争をする理由説明があり、続いて今春闘の取り組み方針について説明があった。

その後、第1講座として非正規雇用労働者のために奔走する全国ユニオンの鴨会長を招き、「非正規雇用の現状と課題」について講義を受けた。鴨会長からは、賃金引き上げは労働組合としてやるべきであり、その賃金原資を労働組合として分配するとき非正規労働者の雇用確保につなげて欲しいとの訴えや、厚生労働省までをも動かした“年越し派遣村”の開村から、仕事を打ち切られた非正規雇用労働者のおかれた状況について、生々しく現場の苦勞が語られた。中小職場においては決して“対岸の火事”ではないことを改めて思い知らされた感があった。この講座は昨年の夏季学習会に続いて連合女性委員会と共催し、女性委員会からの参加も得られ有意義な開催となった。

翌日は、第2講座としてメンタルヘルスサポートに取り組んでいるWith You代表

川上先生から、「中小職場のメンタルヘルス対策」として、コミュニケーションを深めることにより早期発見・防止につながる取り組みとしてのセミナーを受けた。IT中心の仕事やPC相手の職場環境等によって人と人との会話・コミュニケーションが不足し、その結果、同僚や部下が発症している例があるとの指摘があり、自分があるいは一緒に働く仲間が何時そのようになるか...、そしてそれを防ぐためにも、普段からお互いに目を合わせ、言葉かけをすることの大切さについて、弓場副議長との掛け合いコント(!?)やご自身の体験談などを交え、わかりやすく講習して頂いた。人財を大切にす企業こそが不況の中でも発展するという県内企業の一例を挙げ、セミナーを締めくくった。

次に連合中小労働対策局・高橋局長から中小共闘としての春闘方針や資料を基に労働分配の不正さ、そしていざなぎ越え景気の企業の内部留保にふれ、今春闘についてマスコミ等の注視もあるが、非正規雇用対策はナショナルセンターの重要な取り組みとした上で、賃上げも労組として重要な取り組みであり、しっかり闘って欲しいとのエールを受けた。最後に平井議長から研修会を総括し、二日間にわたる研修会を閉会した。

## 緊急助け合い運動

連合徳島女性委員会と青年委員会が職を失った労働者を支援しようと、昨年12月中旬から取り組んでいた「緊急年末年始助け合い運動」に、県民や構成組織から寄付金やコメなど多くの支援が寄せられた。

今年1月末までに寄せられた寄付金は12労組と9人から763,177円が寄せられ、物資は10労組と15人から、コメ(約850kg)、タオル(約1,500枚)のほかに洗剤、缶詰などが多数届いた。12月26日には、連合本部を通じて全国ユニオンに提供し、ホームレスや生活困窮者に配られた。寄付金は両団体と徳島市の「新しい自立化支援塾」の活動費として寄付した。また、1月以降に寄せられた寄付金・物資は、連合本部を通じて全国ユニオンへと、非正規のための基金として使わせていただきます。これまでのご支援・ご協力に心から感謝を申し上げます。なお、寄付金・物資の受付は引き続き行いますので、よろしくお願ひします。

